



ヒューマニティーズセンター
Humanities Center

第119回オープンセミナー

『マハーバーラタ』 インド北方系写本の研究

報告者：**高橋健二**（東洋大学 准教授）

古代インド叙事詩『マハーバーラタ』は、吟遊詩人たちが口頭伝承で伝えていたものであったが、ある時点で写本に書き写され、それ以降南アジア各地で写本の形で伝承されてきた。現在、南アジア各地の文書館には、幾千・幾万もの『マハーバーラタ』写本が所蔵されているが、先行研究において用いられているのは膨大な写本資料のうちのほんの一部であり、その伝承の多様性や全体像については明らかにされていないことが多い。

本発表では、これまでの先行研究を概観した上で、発表者が行なってきたインド北西部（カシミール系）系統写本およびインド北東部系統写本（ネパール・オリッサ系）の調査の成果ならびに今後の展望を報告する。



2024年9月20日（金）

17:00 - 19:00

Zoomオンライン開催

ご登録は
こちら→



主催



ヒューマニティーズセンター
Humanities Center